

平成 2 1 年 1 1 月 2 6 日

茨城県国際理解教育推進協議会  
会長 石川 哲夫 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

ひたちなか市立那珂湊第二小学校 担当 石毛 みどり

「ワールドキャラバン」国際理解教育について、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成 2 1 年 1 1 月 1 7 日 ( 火 ) 1 1 : 2 5 ~ 1 3 : 0 0
対象学年と人数	1 年生 3 4 名 3 年生 3 5 名 各 1 クラス 2 年生 4 0 名 6 年生 4 1 名 各 2 クラス
派遣講師名と出身国	・ 朴 慶銀さん ( 韓国 ) ・ ジェフリー・バークさん ( アメリカ合衆国 ) ・ 苗 勇さん ( 中国 ) ・ ヌル・アクマル・ビンチ・ハニファさん ( マレーシア )
活動の内容	・ 母国語のあいさつ・英語のあいさつ・自己紹介 ・ 国の紹介 ( 食べ物・小学校の様子・社会事情・文化・言葉 民族衣装・習慣 ) ・ 質問タイム ・ 講師の方とふれあい給食
コーディネーター	根本久美子
児童の感想	・ 韓国の小学校では、給食にもキムチがでると聞いてびっくりしました。衣装がとてもきれいでした。教えてもらった遊びはむずかしかったので、休み時間に練習しています。 ・ アメリカの動物のことがよく分かりました。特にサソリがこわかったです。サイモンセズズのゲームをいっしょにやったのが、楽しかったです。 ・ 中国と日本では、数の数え方やジャンケンのしかたが違うのがおもしろかったです。初めて太極拳をやったのがうれしかったです。 ・ 私たちは『総合的な学習でグローバルな人間になろう』という勉強をしています。普段はインターネットや本などでいろいろな国について調べていますが、実際にお話が聞けて、言葉や国の事情や文化などが違うことがよく分かりました。お話を聞いて、マレーシアに行ってみたいなと思いました。
先生の感想	・ 初めての試みだったが、外国の方と接することが少ない地域なので大変有意義だった。このような機会を多くしていくと、児童が個人的に外国の方と会うことがあっても、隔たりや気後れすることなく、自然な関係を作っていくことができると思う。 ・ プロジェクターによる映像など、資料をたくさん用意してくれたので、児童は興味深く話を聞くことができた。 ・ 時間が足りなかったなので、今回はもう少し長く取りたい。 ・ 中国の先生は太極拳を、韓国の先生は韓国の遊びを、アメリカの先生はジャンケンゲームをそれぞれやってくれました。特に低学年は、お話よりもこのような活動をメインにした方がより楽しくなると思う。

